

かわさぎ商工人

▷11◁

和興計測は、貯水タンクなどの残量をチェックする計測器や、制御機器類を設計・製造している企業だ。特に環境災害につながる危険物施設などに用いられる防爆型検定品に力を入れている。

創業は一九六八(昭和四十三)年、塩崎社長が三十歳の時に友人と二人で起業したのが始まりだ。中学を卒業と同時に大手電機メーカーに就職した。「会社の理解のもと、働きながら夜間の学校に通い、学ばせてもらった」と当時を懐かしむ。

十年で退社した後、知人の誘いで計測器メーカーの下請け企業と従業員六人の町工場に計五年間勤めたが、その会社が倒産し、し尿処理場向けセンサーの開発をかねてから高く評価して

(株)和興計測

社長 塩崎 勉さん(72)



「確かな技術が、広範なマーケットに役立つ」と話す塩崎社長

て独立した。

塩崎社長は根っからの「技術屋」

だったが、ある時、ものをつくること

しか知らない自分

に気がつき、若手

の台頭を機に数年

前から小説や絵

画、音楽といった

世界に夢中にな

り、人が本當

に好きになった、

と振り返る。技術

マーケットに適

応し、役に立つ

れいという。

同社の計測器は、成熟分野の「ローテク製品」に相当する。

一方、現在はハイテクの流れに乗る、電子機器が次から次に開

発されているが、雷、地震、強

風、豪雨といった自然災害が避

けられない日本の国土にあって

は、そうしたハイテク製品が常

に正常に作動するか、「一抹の

不安がある」という。

長年にわたって積み上げられ

た一つの確かな技術が、広範な

と振り返る。技術

マーケットに適

応し、役に立つ

確かな技術が支え

塩崎社長は経験の中から、その自信の程を熱く語った。

もらっていたプラント企業に、屋で一生を終るよりも、会社を起すより強く勧められ、として認められる。この方がう

(川崎商工会議所企画広報部

白土 慎)

(株)和興計測 川崎市高津区久地864の1。☎044833)7181。1968(昭和43)年6月創業。従業員12人。資本金2000万円。